

奈良・人と自然の会

省エネルギーについて

川井 秀夫

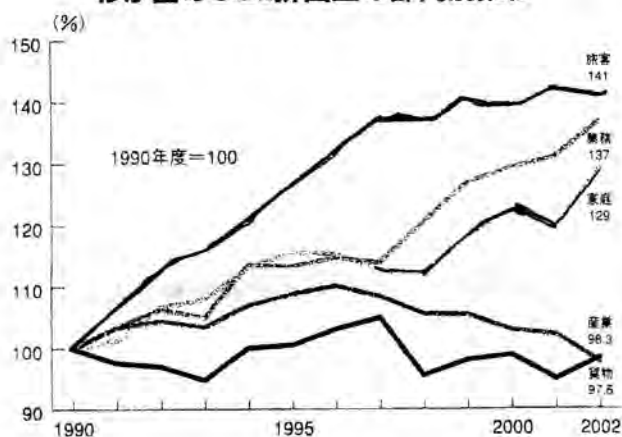
この1月要請を受けて、大阪市の某区役所職員の研修セミナーに招かれ、「生活の中のエコロジー」と題してお喋りをしてきました。30代から40代の男女40名の方が熱心に話を聴いてくれましたが、冒頭、温暖化のメカニズムをご存じの方はと問いかけましたが一人も手が挙がりません。市民に接する役所の窓口業務の方がこんな認識ではと、少し心細い印象を拭えませんでした。

それはさておき、温暖化の元凶は詰まるところCO₂ガス（化石燃料から発生する六種類のガスが対象）の増加が原因と言われておりますが、なくてはならないものである事も認識しておく必要があります。現在大気中のCO₂濃度は380ppm、400ppmを越えると気候変動に著しく影響が出ると言われております。

今、政府において部門別のCO₂抑制の政策大綱が策定中で、この4月には公表される事になっております。下図に見られる如く、運輸部門・家庭部門の増加が大きく産業部門には更なる削減義務が生じることが予想されます。

家庭部門においては、核家族化、高齢化が進み、今後もエネルギー消費が拡大する事が予想され、政府も数値的な政策は考えず、環境税の導入による間接的な抑制効果、ライフスタイルの改善、グリーン購入の促進（省エネ製品の購入）、意識改革を強く呼びかけることになるでしょう。

わが国のCO₂排出量の部門別推移



我々の家庭生活の中で、次のことにチャレンジしてみませんか。

例示：夫婦と子供1人K3人家族。

集合住宅。乗用車1台。

走行距離 年1万キロ。

- ◆ エアコンを5ヶ月使用しない

季節にはコンセントを抜く 12.7kg 700円

- ◆ シャワーはこまめに止める

家族全員が1人 1分短くする 72.3kg 3100円

- ◆ 夏の風呂は、朝に水を張る

200ℓK浴槽で3℃の水温差 66.6kg 2800円

- ◆ 歯磨きは水を流さばなしにしない 6.9kg 2000円

- ◆ 電灯のスイッチをこまめに消す

100Wの電気を全部屋1日5時間消す

CO₂削減 79.2kg 4100円節約/年

- ◆ テレビを見ない時は主電源OFF

1日15時間主電源切る

6.1kg 400円

- ◆ 瞬間湯沸器の口火つけばなしを止める

25.7kg 1100円

- ◆ 風呂は冷めないうちに続けて入る。

電気湯沸器の追い焚きを止める

61.6kg 2600円

- ◆ 乗用車 暖気運転を止める

5分間/1日 年間 100日 16.5kg 600円

1年間でCO₂排出量 5%削減。2万2千円お得。次回は「新エネルギー」について



キジバト

長野晃

この鳥はスズメやカラスと共に余りにも身近すぎて、観察会でもスコープに入れてもらうことすらなく「なんだ、ハトか」で済まされてしまい勝ちです。しかし、こういう気の毒？な鳥たちこそ、じっくり見るとなかなか可愛く面白いヤツなのです。特に、キジバト（も含めたハト類）は他の鳥にはない生態上のユニークな特長を持っています。わざわざ遠くへ出かけなくても、家の近辺でちょっと注意して見ればこのような特長のいくつかを観察することができます。

① つがいは非常に仲睦まじい。

2羽が電線や木の枝に止まって嘴を合わせたり、相手の首や顔に嘴をいれたり、互いに羽づくろいし合ったり本当にやさしく穏やかに愛し合っているのがよく観察されるのは見ていて微笑ましいものです。これだけ仲がよさそうですから、つがい関係もハクチョウ類のように長く続くと思いたいところですが、残念ながらそうでもないようです。これにはいくつかの説がありよく分かりませんが、少なくとも同じつがいで数回繁殖を繰り返すようです（②項の出典参照）。ちなみに英語には **a pair of turtle dove**（キジバトのペア）といって「仲のよい男女」を表すことばがあります。「オシドリ夫婦」の英語版で、両方とも多少の誤解に基づいているところが面白いですね。

② 1年に何度も繁殖する。

キジバトは市街地の庭などにでも平気で巣をつくります。高さも人間の背丈くらいです。庭のヒマラヤスギにも数年前に蛇に襲われるまでほぼ毎年営巣し、年3～4回繁殖を繰り返していました（「各つがいは年間6～8回繁殖を繰り返す」；PHPカラーハンドブック・鳥）。他の鳥は年1～2回の繁殖が普通なのに何故かといろいろ調べてみて分ったことですが、ハトは脂肪と蛋白質の豊富なビジョンミルクを体内で作りそれを雛に与えるとのこと。他の鳥はたとえ成鳥が植物食であっても雛には動物食を与える必要があるため昆虫などの多い春、夏に集中して繁殖活動を行うのです。産む卵数は毎回決まって2個でした。木を見ると「理由は分らない」とありますが、多分繁殖回数との関係であることは明らかだと思います。（pigeon はやや大型のハト。dove は小型のハト）

③ 水を飲むとき嘴を水につけたまま吸い込む。

これもちょっと気をつけていれば意外にしばしば観察されます。最近観察した例ではほとんど嘴の根元まで水に浸けてゴクゴクといった感じで飲んでいました。嘴ですくってから上を向いて流し込むというのが鳥類の一般的な水の飲み方で、ハト方式はベニスズメ科の鳥などゴクゴク一部に限られるそうです。

④ 雨浴びをする。

大抵の鳥が羽虫を退治し羽を清潔に保つため水浴びをすることはよく知られているしそういう場面にでくわすことはめずらしいことではありません。キジバトも無論水溜り

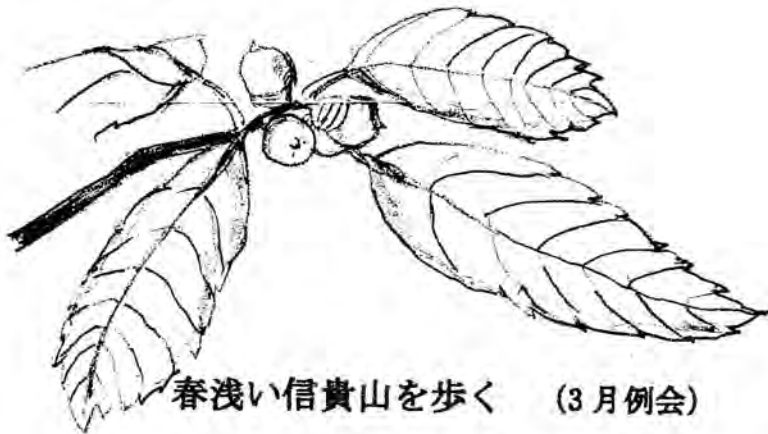
などで行水をします。鼻歌をうたっていたかどうかは定かではありませんが、庭の水鉢にどっぷり浸かっていたという話を聞いたこともあります。この他にキジバトは特技として雨浴びをします。雨の日に注意して見て下さい。

小降りであればスズメやヒヨドリでも平気で濡れていますが、強く降ってくると飛んで行ってしまいます。ところがキジバトはかなり強く降っていてもじっとしています。

一昨年の2月、京都植物園で大雨の中エノキの大木に止まって1数羽のアオバトが雨浴びをしているのを見たことがあります。これもハト類共通の習性のようなです。

気が付かなかったと言う方、次の機会にはキジバト君を是非スコープに入れじっくりお付き合いしてみてください。

ところで、私の若い頃はキジバトはヤマバトと呼ぶのが普通でした。山の鳥で、人里では滅多に見かけられなかったからです。それが市街地にまで進山するようになったのは1970年近くになってからだと思います。空気銃が規制されたり、国が豊かになり人が鳥たちにやさしくなったことなどが理由ではないかと思います。そういえば幼少のころ父親の狩猟の獲物の中に必ずヤマバトが入っており、なかなかの美味であったことを思い出しました。貧しい時代だったとは言え、昔の悪行に「反省！」



春浅い信貴山を歩く (3月例会)

古川 祐司

3月22日(火)、朝からはっきりしない天気だ。予報は午後から本降りになるとのこと。気温13度くらいで肌寒い。レインウェア、レインハット、オーバーズボン、足回りなど手配万全。過剰装備と笑われても、備えあれば憂いなしと軽くいなして、男性5女性4の総勢9人で出発。

近鉄信貴山下駅からはバスで信貴山停留所へ。ここまでをもし歩けば1時間のハイキングコースとなっている。10時20分朝護孫子寺へ向けて歩き始める。門前町を通り抜ける途中、アオモジ小群落に出会う。今満開。黄色の丸い8ミリくらいの花が緑色の枝にびっしりついている(散形花序)。小雨模様の山の斜面が、そのあたりだけパッと明るい。信貴山から高安山にかけては、随所にアオモジの群落がある。図鑑では九州西部、南部、琉球に自生するとなっているが、誰かこの地に植えたのが繁殖したものらしい。黄色は雄しべの葯の色で、花被は白、雌雄異株。

立派な仁王門から開運橋へ。下に広がる大門池を覗けばなんとオシドリが10羽見られる。切り立った池の岸は水際までカシやコナラが覆いかぶさるように繁茂している。オシドリの棲家としては絶好なのだろう。幸先良し、高まった気分で朝護孫子寺へ向かう。境内のカヤの巨木は直径180cm樹齢1500年の代物。聖徳太子の頃から人間の営みを見てきたことになる。また、日本で2本しかないという珍しいイチョウ。このギンナンは合掌した手の形をしているとのことだが、一つも見当たらない。毘沙門堂へお参りして、地下の暗闇の戒壇ぐりへ。まったくの無明、暗闇の持つこの圧迫感はいったい何だろう。邪念を払ってひたすら進む・・・その間約百歩。諸々の厄を払って地上の世界へ戻る。

毘沙門堂から、空鉢護法堂を目指して12丁(約600m)の石段をあえぎながら登る。周りは興味深い杜叢林。アラカシ、シラカシ、コジイ、スダジイ、ナナミノキ、ソヨゴなどの常緑広葉樹、アカシデ、イヌシデ、コナラ、クヌギ、アベマキ、アオモジ、ヤマザクラなどの落葉広葉樹、コウヤボウキ、ヤブランなど。

12時、信貴山山頂、空鉢護法堂に着く。宝山寺のある地点もそうだが、ここは火山だった生駒山系にある古い溶岩ドームの上である。ここからの展望がすばらしい。曇り空ながら、南に明神山、二上山、岩橋山、葛城山、金剛山が直列して連なり、その先やや西方に和泉山脈。西にはPLの塔。東方向は眼下に馬見丘陵、遠くに耳成山、畝傍山が薄霧の中に浮かんで見える。

空鉢護法堂の裏が信貴山城跡となっている。城址にある「大コナラ(BHD約80cm)の下で昼食。幸い雨は一時やんで、ゆっくりできる。戦国の梟雄で、茶の湯を好んだといわれる松永弾正久秀が織田信長に反抗して立てこもった所。愛蔵の名器「平蜘蛛の茶碗」、それと引換に命を助けるという信長の申し出を拒否して、茶碗を抱いて爆死したという。ここでは歴史の話にも花が咲く。

13時、雨が強くなってきたので、下山することにする。来た道を多宝塔まで引返し、世界一大きいお地蔵様を拝んでから開山堂を経由、再び仁王門から門前町へ。来たときには気づかなかったが、桜、梅、アオモジなどの雑木林に野鳥の群れが飛び交いえさを漁っている。今頃は、違う種類の野鳥が一つの群れを作る時期なのだろう。ウグイス、エナガ、ヤマガラ、コゲラが観察。

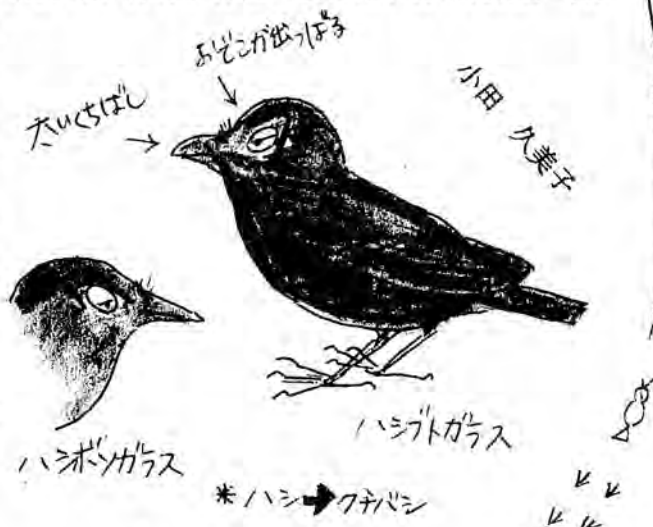
民家の庭先に植えられたクマノミズキ、ヒュウガミズキの花が美しい。どちらがクマノミズキかという議論と解説を楽しみながら小雨の山道を歩く。信貴山停留所から、ケーブル跡地のハイキングコースを一直線に歩いて下る。左右は桜千本といわれる並木道だが、まだ蕾はほころんでいない。滑らないように下ばかり見ながら歩く。ネコノメソウの群落に出会って、思わずコンニチワ。「天王桜が一寸咲いていたよ」とは寺田さん。激しくなった雨に足元ばかり気にしていた我々には上を見る余裕は無い。

14時30分信貴山下駅に到着。雨のお陰で体力にも余裕を残して、無事終了。大変立派な三郷町図書館の軒下で、感想を述べ合い、お世話いただいた阿部さんに感謝、次回を約して解散。

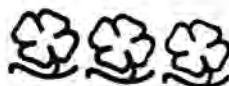
カラス とり トリ 鳥

日本にはカラスはいないでガラスばかり・・・？「カラス」は実はハシブトガラス、ハシボソガラス、ミヤマガラス、コクマルガラス等の総称です。昔映画で繁栄した「タビガラス」は別種です。「ブト」の方は今都会に進出して大繁栄し今憎まれ役ですが、この繁栄は人間さまの一助のお陰げです、元は森林性のカラス。「ボソ」は昔『ごんべえが種蒔きやカラスがほじくる』のカラス、人と仲良く暮らして来ました。カラスはとても賢い鳥で特に「ボソ」はクルミを上空から落として割ったり、道路に置いて車に轢かせてみたりします。何時か海岸でカモメがそれを見て真似をするのだけれど、そこは砂浜（くだんのカラスは別荘のコンクリートで割っている）まだまだ学習が未熟というのをテレビで見たことがあります。キュウカンチョウの様に物まねをするのもいます、少しですが声帯を使えるようです。食生活が安定しているためか寄り合って打ち合わせをしているような集団がいます。タカを見る時のヒントです。黒い服で時間をもてあましている不良グループ、不穏な動き！と思ったらヤッパリ！！オオタカに突撃です。暴走族が集団リンチをしているようでチョツト不快な気分になります。一向に反撃に転じないオオタカに「あんたタカなんだからガツンとやりなさいヨ」と思ったりします。

黒い服で時間を持て余している不良グループのようですが、よく見ると可愛い目をしているのですヨ。これからは子育て時期、知らないで巣の下を通ると攻撃されます。歩道橋の近くの街路樹に「七つの子？」がいるのです。と、書いているうちカモメが空から貝を落として食べている写真が3/15鳥友から届きました。カモメさんに対して、不適切な発言がありましたことお詫びいたします。



地域情報



*1,2行でも結構です
身近な記事を送ってください。

- 3/8 竜田川でカワセミ2羽が近くに寄り添うように、春なのでしょうか 勝田
- 3/15 三室山 ウグイス初鳴き 勝田
- 3/23 チョウゲンボウが竜田川近くの民家のひさしに止まりました。
止まっているのを見たのは初めてでした。ゆっくり見ました。 勝田
図鑑で調べると、雌でした。
- 3/28 ツバメ2匹初見。昨年は16日でした。竜田川。 勝田

新刊本紹介

〈樋口善雄〉

「ものの見方を育む自然観察入門」～理科教育の原点を見つめて～

著 者 菅井啓之 元大阪教育大学付属小学校教諭

現ノートルダム学院小学校教諭

発行所 文溪堂

もっと素晴らしく生きていく上で、価値ある自然との接し方、ふれ合い方、見方を指導して自然に対して子供たちの心を開いていくこと。著者が考える自然観察がそこにあります。



近畿自然歩道・「まほろばの路」

第一回吉野・宮滝から吉野神宮への路

今年四月からあしかけ15回に分けて、青垣に山こもれる麗しき、まほろばの郷に自然と人・歴史と文化を訪ねます。第一回は桜の吉野を訪れます。会員外の方もお気軽にご参加ください。

距離 : おおよそ7kmで約4時間コース

日時 : 4月11日(月)

集合場所 : 近鉄大和上市(バス 9:55 発で宮滝からスタートします)

時間 : 9:50

連絡 : 阿部野橋～榎原神宮～大和上市

西大寺～榎原神宮(電車、バスの時間は2月1日現在)

7:50～ 8:30～ 9:19(急) 7:56～8:26(急)

8:20～ 9:01～ 9:49(急) 8:21～8:51(急)

担当 : 大石門三

斉藤和子

4月度例会「竜鎮溪谷・深谷川から室生寺」

新緑の溪谷の静けさ・「水の芸術」ともいえるナメ床を楽しみながら、溪谷を橋や「沢渡り」で何度も越えながら源流点に達します。増水時には足もとが濡れるかも知れませんが……。やがて眼下に春先の室生寺全景が広がるコースです。

・ 日 程 : 4月20日(水)

・ 集 合 : 近鉄室生口大野駅前(バス停) 午前9時45分

・ コース : 室生口大野駅—室生ダム—竜鎮橋—深谷川(竜鎮川)溪谷—天王橋—室生寺(バス停)・・・室生口大野駅

・ 交 通 : ・近鉄難波[近鉄奈良線] 8:30 発→鶴橋[近鉄大阪線急行] 8:38 発→室生口大野 9:37 着

・西大寺[近鉄榎原線急行] 8:41 発→大和八木[近鉄大阪線急行] 9:14 発→室生口大野 9:37 着

・担 当 : 勝田 均

小田久美子

【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場 所〉 奈良市忍辱山国有林（集合場所より東海自然歩道を奈良方面へ約10分）
淀川、木津川、白砂川の源流域

〈集合場所〉 忍辱山円成寺駐車場（バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の中間）

〈日 時〉 4月13日（水） 10時20分 第23回
4月29日（祝） 11時30分 第24回
5月 6日（金） 10時20分 第25回
5月22日（日） 11時30分 第26回

日祝日は、9時20分にはスタッフは駐車場に居ります）

〈終了予定〉 午後3時頃

【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします。

〈交 通〉 奈良交通バス [邑地中村行き] 柳生方面

	JR奈良駅③番乗り場	近鉄奈良駅④番乗り場	忍辱山円成寺
平日	9:30	9:33	10:06
日祝	8:26	8:29	9:02
日祝	10:40	10:43	11:16

奈良交通 ☎0742(20)3100

臨時バスがあるかもしれません。お問い合わせ下さい。

【3月25日より平日の時間が変更になりました。

〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）・手袋・スパッツ・鋸・防護眼鏡等
用具は当会にて多少は用意しております。

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう》

モツクン等木工クラフトも出来ます。

ショウジョウバカマ（群生）等春の花も咲始めます。

5月にはコバノミツバツツジも満開になります。

〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

昨年3月に作業を始めて1年1カ月経過しました。全体の面積約1.5畓の2/3の整備作業が終わりました。

皆様のご協力により事故もなく作業をすることが出来ました。有り難く厚くお礼申し上げます。あと半年で全体の作業が終了できる見込みです。経過等詳しくは次号にてご報告致します。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

有難うございました。

〈5月の予定〉＊いずれも詳細は機関紙第40号〈5月号〉でお知らせします。

第2回近畿自然歩道・まほろばの路

〔コース名〕 下市花の里を楽しむ路

〔日 程〕 5月12日(木)

〔担 当〕 樋口善雄

平成17年度 定時総会 (予告)

〔日時〕 5月21日(土) AM10:00~PM3:00

〔会場〕 奈良市黒髪山キャンプフィールド

〔次第〕 ・10:00~11:00 総会 ・11:00~13:00 自然観察
・13:00~15:00 バーベキュー野外会食・懇親会

◆ 予めご予約頂き、多数のご来場をお待ち申し上げます。

5月度例会「高取山・武家街道と日本一の山城跡」

〔日程〕 5月28日(土)

〔担当〕 豊島すみ子

『アースデー 2005 IN なら』

大和川クリーン作戦に参加しよう

恒例となりましたアースデーの行事が、下記のとおり実施されます。今年は行事が幾つか加わり、多彩なプログラムになっております。

当会としても工作教室に併せ、環境保全活動の一環としてクリーン作戦に参加したいと考えております。会員の方々の多数のご参加を希望致します。

〔日時〕 4月24日(日) AM9:45~PM1:30 (開場 9:15)

〔場所〕 奈良県第一浄化センター自由広場

近鉄 橿原線ファミリー公園前駅 下車すぐ

〔スケジュール〕

- 9:45 オープニングセレモニー
- 10:00 大和川クリーン作戦(河川清掃)
- 11:10 ステージ「高石ともや」環境トークコンサート・木工作体験コーナー
- 12:30 大和川博士のお話
- 13:00 ふるまいカレー
- 13:30 終了予定
- 大和川河川事務所(国土交通省)展示

＊ カレーの食事はゴミ減量に協力し、お皿とスプーンはご持参下さい。

連絡先 樋口 善雄

川井 秀夫

協力活動「いこま棚田クラブ」・4, 5月活動日ご案内

活動日 : 4/3 [日], 4/11 (月), 4/17 (日), 4/25 (月)

5/1 (日), 5/9 (月), 5/15 (日), 5/23 (月), 5/29 (日)

山桜が咲きさらに新緑の変化がことのほか美しい季節楽しめますご参加お待ちしております

集合場所 : 近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間 : 9時 現地までタクシー他 分乗で移動

持 物 : 弁当 (第三日曜日は炊き出しあり) 作業スタイル

事務局 : 大寺道代

ホームページ :

平成17年3月定例幹事会報告

平成17年3月1日 (火) 奈良女性センターにて 出席者 幹事11名

議 事 「報告事項」

- 1) 会員数 93名
- 2) 二月例会 山の辺の道「野鳥観察会」 参加18名 42種類をみる。
- 3) 奈良忍辱山森林整備作業 二月度二回延べ12名参加。
- 4) シニア自然大學地域活動部懇談会に川井会長出席
ネイチャーならの活動報告をする。
- 5) 「いこま棚田クラブ」二月は四回活動 3/20(日)には都島エコクラブより 37名参加。
- 6) 平成17年度の「近畿自然歩道、まほろばの路」の全体コースを確認
一部変更、後日正式発表する。

「討議事項」

- 1) 平成17年度総会 日程平成17年5月21日(土)
会場 黒髪山キャンプフィールドにて 二部構成で行う
総会 10:00~11:00 その後周辺の観察会
昼食 12:00~14:00 バーベキューで昼食
- 2) 奈良忍辱山森林整備作業、新年度申請について
まだ残っている場所の作業を継続(4月~9月)するとともにその作業も検討中。
- 3) 広報パンフレットの作成について ネイチャーならの活動をアピールするための
パンフレット作りプロジェクト(チーフ川井会長)を打ち上げ総会までに作成予定。
- 4) 4月度行事予定の確認
「まほろばの路」第1回吉野行き 4/11 (月) 担当 大石
「例会」龍鎮溪谷 4/20 (水) 担当 勝田、小田
- 5) その他 アースデー2005/03/14inなら 4/24 (日) 於、奈良県第一浄化センター
ゲスト高石ともや 大和川のクリーン作戦に川井会長参加、木工担当樋口
会員もこぞって応援参加をお願いします。

編集担当 : 勝田 均

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫